

SPODフォーラム2025 「SPODオンラインFDコンテンツ プラットフォームサイト」を活用する

2025年8月28日 徳島大学 高等教育研究センター 飯尾 健

自己紹介

氏名・所属

飯尾 健(いいお けん) 徳島大学高等教育研究センター 教育改革推進部門 助教 SPOD FD調査研究プロジェクト・オンラインFDチームリーダー



今回の「SPODオンラインFDコンテンツプラットフォームサイト」 改め「FD・SDコンテンツ」作成を担当

本日は以下のサイトを開きながらプログラムに参加してください https://www.spod.ehime-u.ac.jp/fdsd/

本プログラムの目的

「SPODオンラインFDコンテンツプラットフォームサイト」 改め「FD・SDコンテンツ」の使い方を学ぶ



コンテンツを調べ、オンデマンドで行えるFD・SD プログラムをグループで考える

本プログラムの内容



アイスブレイク

テーマ:グループワークに向けてチーム名を決めよう

- ①まずはグループメンバーに名前・所属を自己紹介
- ②グループ名を相談して決める

テーマは「夏に関係するもの」

例:かき氷・お盆・阿波踊り・セミ・入道雲 etc.

1班: 花火

2班: すだち

3班: 手筒花火

FD・SDコンテンツの目的と意義

目的

- □ コロナ禍に伴ってオンラインで実施されたFD・SDのための 教材を有益に活用できるようにしたい
- □ 主にSPODコア校(愛媛・香川・徳島・高知)が作成



オンラインコンテンツによるFDのメリット

- □ 好きな時間に、好きなペースで受講できる
- □ 自前でFD・SDを実施しづらい(講師がいない等)大学でも ニーズに合わせたFD・SDが実施できる

FD・SDコンテンツの目的と意義

「FD・SDコンテンツ」をサイトとして立ち上げる意義

各コア校が作成したコンテンツの情報を集約し、 検索できるようにしてアクセスしやすくする

想定する使い方

各大学FD担当者 大学のニーズに応じてコンテンツを組み合わせてプログラムを 作成

教員個人

それぞれの問題意識にもとづいてコンテンツを調べ、 閲覧・学習して教育改善につなげる

コンテンツの調べ方

コンテンツ一覧

SPOD(四国地区大学教職員能力開発ネットワーク)加盟の各コア校が作成したオンラインで活用できるFDコンテンツの情報です。 以下の検索スペースから「キーワード」「タグ」「FDマップ」等様々な条件で検索が可能です。

先生方の授業改善、各大学FD担当者の方の研修プログラム作成にお役立てください。

「タグ」「FDマップ」についての詳細はこちらをご覧ください。

「タグ」について

「FDマップ」について

また各コンテンツの利用にあたっては、作成元の大学ならびにコンテンツ作成者・アップロード先の規則・規定にしたがってください。

Search... すべてのタグ **FDマップ(レベル)一覧 V** FDマップ(フェーズ)一覧 **検索**

キーワード+タグ/FDマップ(レベル・フェーズ)を組み合わせて検索

「タグ」について

それぞれのコンテンツの内容を示し、より検索しやすくする

それぞれのタグの意味は「タグについて」を参照

https://www.spod.ehime-u.ac.jp/overview/about-tags/

1つのコンテンツに 複数タグがつくものもあり 今後増減の可能性あり

「タグ」について

各コンテンツには、それぞれの内容に合わせてタグが1つ以上付与されています。キーワードと組み合わせることで検索が便利になります。 検索の際に選択できる「タグ」は以下の通りです。

ICT:授業におけるICTの活用に関連するコンテンツです。 タグ「ICT」が含まれるコンテンツ https://www.spod.ehime-u.ac.jp/?sfid=4387&sft_post_tag=ict

IR:IR (Institutional Research) に関連するコンテンツです。 タグ「IR」が含まれるコンテンツ https://www.spod.ehime-u.ac.jp/?sfid=4387&_sft_post_tag=ir

SD: SD (Staff Development) に関連するコンテンツです。 タグ「SD」が含まれるコンテンツ https://www.spod.ehime-u.ac.jp/?sfid=4387&_sft_post_tag=sd

TA・SA: TA (Teaching Assistant) やSA (Student Assistant) に関するコンテンツです。 タグ「TA・SA」が含まれるコンテンツ https://www.spod.ehime-u.ac.jp/?sfid=4387&_sft_post_tag=ta-sa

アクティブラーニング: さまざまなアクティブラーニングに関連するコンテンツです。 タグ「アクティブラーニング」が含まれるコンテンツ https://www.spod.ehime-u.ac.jp/?sfid=4387&_sft_post_tag=active-learning

オンライン授業: オンライン授業に関連するコンテンツです。 タグ「オンライン授業」が含まれるコンテンツ https://www.spod.ehime-u.ac.jp/?sfid=4387&sft_post_tag=online-class

「FDマップ」について

FD活動の全体像を俯瞰するための体系図

オリジナルのミクロ〜マクロの3レベル、 I 〜IVの4フェーズに加えて「その他 (ミクロ〜マクロのいずれにも該当しないもの)」を加え、4レベルとする

レベル/フェーズを組み合わせて調べることで検索しやすく



コンテンツ全体の位置づけを明確に

国立教育政策研究所 (2009)『大学・短大でFDに携れる人のためのFDマップと利用ガイドライン』

(https://www.nier.go.jp/koutou/projects/fder/fdmap ver9.pdf)

フェーズ	ミクロ <u>個々の教員</u> 授業・教授法			ミドル <u>教務委員</u> カリキュラム・ プログラム			マクロ <u>管理者</u> 組織の教育環境 ・教育制度		
	目標	方法	評価	目標	方法	評価	目標	方法	評価
I.導入(気づく・わかる)									
Ⅱ.基本(実践できる)									
Ⅲ.応用(開発・報告できる)									
Ⅳ.支援(教えられる)									

個人ワーク

ここまでの説明を踏まえて、実際にサイトを検索してコンテンツを 探してみましょう

「FD・SDコンテンツ」でいろいろ検索し、 興味をもったコンテンツを最低1つ見つけてください

見つけたコンテンツを全体で共有しましょう

- □ コンテンツの名前
- □ どのような点に興味をもったか

口頭で とくにメモ等不要

動画の音声が気になる場合は、移動してもらって大丈夫です

グループワーク

オンデマンドFDorSD研修プログラムを各グループで作る

「FD・SDコンテンツ」を探し、**1つ以上**のコンテンツを使った 大学教職員に向けた研修プログラムを作ってください

単にコンテンツを選ぶだけでなく、

「何を目標とするか」

「誰に向けて見てもらうか」

「目標達成や研修受講の確認方法」

についても考えてください

完成したプログラム案は全員で共有しましょう

書く内容 (例も参照)

- ①グループ名・グループメンバー氏名
- ②研修プログラム名
- ③対象

どのような教職員に向けて実施するのか(全員・新任教職員等) 具体的な大学名はあってもなくても大丈夫です

- ④使うコンテンツの名前(1つ以上、複数でも可)
- ⑤プログラム参加・目標達成を確認する方法

テストの実施や振り返りレポートを実施する等 可能であれば方法・使うツール・内容についても考えてみてください

流れ

①アイデア出し・コンテンツ探し

付せんを用意するので、見つけたコンテンツやプログラムに関する アイデアをメモして模造紙に貼り付けてください

②模造紙に内容を記入

案が決まったら、マジックで模造紙に記入してください(例を参考に) 色を使い分けたり、図・絵で表現するのも大歓迎です

③共有と質疑応答(1グループ発表3分+質疑2分)

完成したら、前に出て発表してください(1人で発表でも複数人でもOK) 共有後、他のグループや飯尾から質疑・コメントを行います

今後の予定と展望

内容の充実

- □ 収録コンテンツの拡充
- □ コンテンツを用いたFDの方法・実践例の募集・開発・掲載
- ご意見・ご要望をぜひお寄せください
- SPOD公式サイト 「お問い合わせ」

iio.ken@tokushima-u.ac.jp

https://www.spod.ehime-u.ac.jp/contact/

□ 飯尾メールアドレス

みなさんの意見をもとに、よりよいサイトにしたいと 考えています

おつかれさまでした

今後も充実した内容にしたいと考えています

ぜひ「FD・SDコンテンツ」を使ってみて、感想・ご感想を お寄せください

今日のグループワークの成果物(模造紙)については、飯尾が 持ち帰り保管します

もし手元に置いておきたい場合は、ご連絡いただければ 撮影した画像をお送りいたします

「FD・SDコンテンツ」へのご意見

